

評価シート2（創エネ・省エネ物語）

流1 バイオマスなどの地域の新エネルギーの利用促進を図る

■バイオマスエネルギーの活用拡大
・生ごみや下水道汚泥によるバイオガス発電とガス利用の多用化
・廃食用油の燃料化利用
・農業系残さや剪定枝、枯れ草などの未利用バイオマスの資源化策の調査・検討

■太陽光や雪エネルギーなどのその他の新エネルギーの利用推進に向けた検討
・太陽光発電の地域への普及に向けた情報収集の推進
・雪エネルギー利用の先行事例等の情報収集・研究

登場人物の役割			これまでの取組及び 今後の実施予定の取組【斜め字】	実施 状況
市民	事業者	行政		
・バイオマスエネルギーへの理解を深める ↓ 生ごみ、廃食用油の適正分別に協力する	・バイオマスエネルギー導入の検討 ↓ 利用可能なバイオマスの種類、賦存量等の調査 ↓ 利用技術等の調査、研究（既存設備を含めて） ↓ 実証試験等の実施	・地域における関係者等の集約 ↓ 国や試験研究機関等との連携強化 ↓ 効率的な回収システム等の検討 ↓ 事業化に向けたコーディネート	・国や関係団体、試験研究機関等との連携構築、有効利用に向けた検討（H16～） ・滝川市バイオマスタウン構想の策定（H18、H19に改訂） ・地域バイオマス燃料に関する検討（H23）	
既存施設の発展的活用も含め、各関係者の連携を図りながら、様々なバイオマス利用の拡大に努める				
・新エネルギーへの理解を深める ↓ 太陽光発電の導入検討 ↓ 導入に向けた情報収集（支援制度、コストなど）	・新エネルギーの事業化可能性検討 ↓ 新エネルギーの導入拡大に向けた取組 ↓ 低コスト化への研究 ↓ 滝川に適した事業化手法等の研究	・新エネルギーの事業化可能性検討 ↓ 公共施設への太陽光発電の先導的導入 ↓ 実績データ等の集積・分析 ↓ 導入促進支援策等の検討 ↓ 雪エネルギー利用に関する情報収集 ↓ 国の支援制度等に関する情報収集	・新エネルギー教室、燃料電池教室開催など（H18以前～） ・庁舎への太陽光発電設備の導入（H22） ・民間事業者への事業支援体制の構築（H23～）	
新エネルギーの導入推進に向けて、国の支援制度等を活用しながら、官民連携を語りながら取組を推進する				

流2 地域省エネルギーと温暖化対策の普及推進

■省エネルギーの推進は自己把握と意識の徹底から
・自らのこれまでのエネルギー消費の実態を把握する
・無駄点検と省エネ意識の向上を図る

・省エネライフへの転換の促進 ↓ 環境家計簿によってエネルギー消費の実態把握 ↓ 家族で省エネ実践（すぐ出来る対策から） ↓ エコドライブ実践や公共交通機関の利用 ↓ クールビズ、ウォームビズの実践 など	・省エネ法に基づくエネルギー管理の徹底 ↓ 自事業所の消費エネルギーの内容を把握する ↓ 年平均1％削減をめざすための対策検討 ↓ 従業員の意識向上などソフト面からの対策検討 ↓ エコドライブ研修会など	・省エネの実践及びサポート ↓ 省エネモニターの普及 ↓ 公共施設での省エネの先導的実践 ↓ 具体的な省エネ対策の提示 ↓ 公共交通機関の利用促進対策	・省エネモニターの実施（H19～） ・地域公共交通活性化協議会の開催（H20～） ・滝川市地域省エネルギービジョンの策定（H21～H22） ・庁舎への高効率タイプ照明器具の導入（H22） ・バス利用促進キャンペーンの実施（H22）	
エネルギーの使用実態を把握した上で、必要のないエネルギー消費の削減のための意識付けからスタート！				

■省エネを設備や技術からアプローチする
・「滝川市地域省エネルギービジョン」の実践推進
省エネ導入に関する基本的知識等の普及
省エネ技術等の情報周知
省エネ先導モデルとしての公共施設での取組実践の推進
効果データの共有により地域へのさらなる普及拡大へ

住宅、家電、自動車などの省エネ対策の導入検討 ↓ 省エネに関する基本的知識の習得、情報収集 ↓ エコカーやエコ家電等の導入検討 ↓ 住宅の増改築等に際しての省エネ対策の検討 ↓ 導入効果等の検証記録（→環境家計簿への反映）	・事業所における省エネ設備等の導入検討 （一般事業者） ↓ 専門機関による省エネ診断の実施 ↓ 省エネ設備等の導入検討、ESCO事業の検討 ↓ 導入実践 ↓ 取組効果の把握	・省エネ対策導入支援の推進 ↓ 省エネに関する情報等の普及 ↓ 公共施設での先導的導入検討 ↓ 効果の見える化の推進 ↓ 経済性を含めた効果等のPR ↓ 民間による製品や技術等のPR支援	・燃料電池自動車などのエコカー試乗会（H21） ・出前省エネ講座の開催（H22～） ・滝川市地域温暖化対策実行計画の策定（H21） ・庁舎への高効率タイプ照明器具の導入（H22） ・庁舎への太陽光発電パネル設置（H22） ・省エネレシビの制作・配付（H23） ・民間企業等における省エネ型製品等の情報収集及びその普及（H23～）	
それぞれが実践を積み重ね、省エネ・新エネに関するデータ等を共有しながら、地域への普及を推進する				

■地域における地球温暖化対策の推進
・地域における温暖化対策の検討
・省エネ法に基づく事業者等に対する省エネ対策の推進PR
・エコな移動手段である公共交通機関の利用促進

・温暖化問題に対する理解を深める ↓ 公共交通機関の積極的な利用	・温暖化問題に対する事業者としての責務の遂行 ↓ 温室効果ガス排出に係る現状分析 ↓ 公共交通機関の利用促進に向けた取組の推進 ↓ 電気自動車等のエコカー導入に向けた検討 ↓ 温暖化対策を軸とした事業者間連携構築	・地球温暖化対策対策の率先推進と情報の普及 ↓ 温暖化対策に関する情報収集、提供 ↓ 地域の先導役としての方策の提示 ↓ 公共交通機関の利用促進対策の実施	・省エネモニターの実施（H20～） ・地域公共交通活性化協議会の開催（H20～） ・滝川市地域省エネルギービジョンの策定（H21～22） ・滝川市地域温暖化対策実行計画の策定（H21） ・庁舎への高効率タイプ照明器具の導入（H22） ・庁舎への太陽光発電パネル設置（H22） ・バス利用促進キャンペーンの実施（H22） ・省エネレシビの制作・配付（H23）	
温暖化問題への関心を高め、地域や個別ごとに実践できる温暖化対策を検討、実践する				

【実施状況欄】

A: 十分な取組が行われている B: 取組が行われているものの、今後の推進が望まれる C: 取組が行われているが、今後、方向性を変えるなど事業の再検討が必要 D: 取組が進んでおらず、検討が必要